

# 総合計画策定市民懇話会 < 第 5 回 > 議事概要

日時：令和元年6月19日(水)18:00～19:30

場所：北広島市役所 5階 委員会室

## 1 開会

事務局：(開会)

## 2 報告書(案)に係る意見交換

事務局：(資料説明)

座長：皆様からご意見を頂きたい。

構成員：独居老人について、今後、自宅の近所に独居老人が増えてきた場合に、自分が買い物に行くときに声を掛けに行き、必要なものを聞き取った上で、ついでに買い物をして届けてあげたい。向こう三軒両隣というが、近所同士が声を掛け合えるようになっていけば、買い物難民も防げるのではないか。市の直営で実施しようとする、難しい面がある。ファミリー・サポート・センターの協力会員のような制度で、お買い物声掛けサポーター等の制度があるとよい。

座長：町内会では、独居老人や高齢の家庭を出来るだけ把握し、声かけ等をしていると思うが、プライバシー等の問題でなかなか難しい部分もある。何か方法を考えてほしいという要望で良いか。文章構成を考えた上で、「独居老人等への見守り」の欄に入れてはどうか。

構成員：消費者教育の充実に関し、消費者教育の推進を報告書に載せていただきたい。今後、成人年齢の引き下げもあり、消費契約等に関する常識的なことや消費者の権利と義務など理解の必要な内容が多くある。

座長：6 ページの「防犯と消費者被害の未然防止の推進」の欄に、子どもに関する消費者教育の推進を図る旨を追加する。

構成員：農業に関し、後継者不足を見据えた対策や、新規就農者や無農薬栽培等をしている農業者を応援する必要がある。北広島の農業を応援するというような、良い言葉がないか。

座長：離農者はいるか。

事務局：農業者の数は、数年横ばいである。

座長：北広島市における農業は、まだまだ重みがある立ち位置だ。検討の余地はある。

構成員：まちの活性化として、六次産業化のような取組を行っていて、栽培していただいた赤毛米を活用して、お菓子やケーキ、パン、お酒等をつくり、農業者や農業委員会と一緒に推進してはいるが、まだ活動としては大きくない。農業者の方にもメリットがあるように進めている。

座長：農業振興を図ることは、市として必要であるといった意見を入れることができるか。

事務局：入れることができる。

構成員：旧島松駅通所は、寒地稲作発祥の地でもあり、農業を応援したい。もう一点、グルメマップについて、障がい者や高齢者が運営する飲食店などを掲載したものとよい。

座長：福祉分野において入れることを検討したい。

構成員：シルバー人材センターとの連携について、会員の高齢化と、会員数が増えない状況にあることが記載されているが、現在会員の拡大計画を策定中であり、会員の増強に向けて様々な取り組みを行っているということに記載していただきたい。

構成員：各種ツーリズム等のパッケージ化について、観光客が相互に行き来するというような表現にできないか。広域的に連携して、よりよい方向に持っていくということに繋げたい。

座長：そのような表現にする。

構成員：各地区の部分の西部地区について、寒地稲作発祥の地であることをPRする旨を書いていただきたい。まず市民自身がそのことを自覚すべきである。

座長：寒地稲作発祥の地であることを広く広報できる体制が必要だ。

構成員：北広島団地地区については、道営住宅が縮小されていっている問題があり、市としても適切に対応していただきたい。UR住宅に関しても、所管機関と市との関わりが重要である。

事務局：輝美町の道営住宅は、現在新たな入居者を募集していない状態である。北海道の住宅のストック計画では、人口減少に伴い、北海道全体として道営住宅を縮小する傾向にあり、輝美町の団地は、その一つであるため老朽化した建物は取り壊していくが、その後について、道は方針を示していない。市としては、良好な住宅を確保するための策についても、申し入れをしている。

構成員：各地区の特色について、北広島団地地区の「高級住宅街」という表現は、若干、差別をしているようなニュアンスがある。他の表現にできないか。フィンランドのタピオラがモデルだ。シンプルに「緑豊かな住宅街」はどうか。

座長：そういった表現でいく。東部地区は「都心部」という表現でよいか。

構成員：まさに都心部が必要だ。

構成員：5ページの「さんぽまち」としてのまちづくりの中の、「木々や鳥等の図と解説等を置き、自然に学習できるような」が、「自然に」ではなく「自然を」だと思う。

座長：「自然に」を「自然を」に訂正する。「できるような」の後は「、」が入る。「できるような、散歩しなくなる仕掛け」に修正させていただく。

構成員：町内会が小さくなり、電気代すら維持できない現状もあるが、町内会の合併等はあるのか。

構成員：あまり聞いたことはない。機能の停止が先になってしまう。

構成員：私は大曲に住んでいるが、町内会の規模がとても大きく、大きいのが故に人は必ずいるという利点がある。区に分けて、班をつくっている状況である。

構成員：合併とは逆に、分散しようという町内会もある。町内会の規模が大き過ぎると、1つの団体の中でのコンセンサスが取りづらいという面もある。

座長：高齢化と人口のバランスを見て、今後は町内会の再編成も視野に入れる必要がある等書いても良いか。

構成員：今後一層、町内会の立ち位置が重要になる。特に高齢化が更に進行したときに、その地域について話し合いができるような町内会でなければならない。

構成員：町内会自体が人と人との繋がりであり、行政が合併を強要するようなものではない。合併という方策もあるという緩いニュアンスの書き方が良いのではないか。

座長：再編成も視野に入れた支援体制が必要である。周囲の住民による支援体制を行うというニュアンスで書くか。

構成員：町内会の役割は、とても大きい。特に今より高齢化地域になった場合、地域のコミュニティの機能は、ある程度自分達で賄うことを考えなければならなく、他人任せでは到底良くなる。

座長：13 ページの下側「町内会活動の維持促進」の中に、「少子高齢化等の現状における町内会のあり方の検討」などと入れてはどうか。

構成員：連合町内会に入らない町内会は増えているか。

構成員：増えてはならず、連合町内会が分裂した例はある。全体の動きとしては、まとまっていこうという雰囲気ではない。

事務局：町内会長が交代し、考え方が一変してしまう場合があり、一筋縄ではいかない。確かに町内会に入らなくても広報紙は届き、行政サービスを受けることができ、街路灯の維持費を払ってなくても明かりは享受でき、生活上支障はない。コミュニティの必要性というのは、両極であり、そこに対する考え方は非常に難しいところだ。

構成員：ごみステーションでも同じことが言える。町内会に入っているか否かに関係なく、ごみを持っていく。

構成員：町内会の必要性を啓蒙していかないといけない。なぜ必要なのか、なぜ入らなくてはいけないのか。いつまでも行政側が全てのサービスをできる時代ではない。足りない部分を町内会で補完していくという考えが重要であり、高齢者への声掛けとか、そういう単純なことも町内会の役割であると思う。コミュニティが一度崩壊すると立ち直らなくなってしまうため、町内会の存在意義を啓蒙していかなければ、今入っていない人には、いつまで経っても入ってもらえないことになる。

構成員：町内会の自治運営に関する法律のような法規はあるのか。

事務局：あくまでも任意の地縁団体であるため、強制するような法律はない。過去に町内会への加入を強制した自治体があったが、判例で違法となったケースもあり、難しいところである。

構成員：町内会は、市から補助金を頂いて運営していることから、ずさんなことをしてはいけない。町内会の最大の目的は、地域のつながり、コミュニケーションである。事業や行事に拘ってしまうと、逆に住民から反発が出てくると思う。町内会の基本的な部分が機能していないと、町内会としての意味がない。防災の観点からも、非常時に一番先に動くことができるのは、向こう三軒両隣の住民であり、そういったことを理解してもらうように努めることが一番大切である。

構成員：今の時代を見ると非常に無縁社会であり、繋がりが希薄になってきている。例えば、国や道で町内会や自治会のあり方について、議論をしているのか。町内会の発祥した歴史や当時の状況等、原点まで遡り、現代の社会問題が出ている中で、国や道の動きはないのか。

事務局：国や道の動向は後日調べてみるが、市の会議に参加していただく等の町内会に対するお願いも多いと思う。

構成員：犯罪から子どもたちを守っていくために、町内会等による防犯活動を地道に続けていく必要がある。このような防犯活動により、少しずつではあるが、犯罪は減ってきている。このような活動の必要性を、我々は地域の皆様に話していかななくてはいいけない。

### 3 その他

座長：皆様からお話しがあればどうぞ。

構成員：環境ひろばのイベントがあるので、お時間があれば、ぜひご参加いただきたい。

構成員：北広島ユネスコ協会主催の世界遺産を学ぶ公開講座でお話をさせていただく。ぜひ御参加いただきたい。

座長：最後に、委員の皆様から一言ずつ御挨拶をいただきたい。

構成員：5 回にわたり、このような貴重な場に参加させていただき感謝している。シルバー人材センターにいるので、会員になりたい方がいたときは御連絡いただければ丁寧に御説明したい。ありがとうございました。

構成員：この会に参加し、皆様のお話を聞いたり、自分も話しをしてみて、地域の子ども会や近所の高齢者ともっとコミュニケーションをとろう、あるいは、声かけ等やってみたいということを町内会の会長に話してみよう等、様々なアイデアが出てきており、これから積極的に頑張っていきたい。どうもありがとうございました。

構成員：観光の仕事をしており、北広島の案内もしているが、もっと北広島を知りたくなくて、北広島の良いところを発信できる人でありたいと思った。そして、皆様にもっともっと北広島を好きになってもらいたいと思った。

構成員：未熟ではあったが、この会に参加して、多くのことを学ばせていただき、とても勉強になった。北広島市のことを知ると、とても好きになり、引っ越してきて良かった。これからは楽しみに感じている。ありがとうございました。

構成員：それぞれの市民が北広島市に熱い思いがあり、様々なアイデアや良い考え、まちに対する貢献の仕方等、このような会議の場で話が出るが、様々な場面で一つにまとまれば良いと思う。それによって、町内会の加入等の解決もできると思う。今回、皆様のまちに対する熱い思いが聞けてよかった。

構成員：消費者協会のことは分からなかったと思うが、消費者とは皆様自身だという部分をわかっていただければと思う。皆様とお話しができ、若い方達が語ってくれて、北広島はいいな、ここに住んでいて本当に良かったと思っている。どうもありがとうございました。

構成員：非常に勉強になった。東京の大学を卒業し、最初の初任地が札幌で、北広島に移住をしてきて本当に良かったという思いが更に強まった。北広島のことを更に勉強し、市民としての私個人が市のセールスマンをしていきたいと、決意するに至った。ありがとうございました。

構成員：このような機会を持たせていただき、ありがとうございました。由水座長の素晴らしいリードで、大変楽しく参加させていただいた。高齢化社会に余り拘ることはないと思う。北広島は、100 歳まで自由に楽しく住めるまちになればいい。これからも、老骨にむち打って、でき得る限り頑張りたい。

構成員：このまちは、緑豊かな環境で、とても好きだ。このまちである程度働いてきて、夢が叶うまちだと

思っており、今後の展開を楽しみにしていきたい。社会福祉協議会は、令和元年6月24日から新たな事務所に移るが、市のお蔭で素晴らしい建物になっている。お近くにお越しの際は、お立ち寄りいただければと思う。どうもありがとうございました。

座長：今回の懇話会で皆様方とお話をする中で、北広島市には素晴らしい方が沢山いるのだなという印象を受けた。自分にとっても勉強になり、とても良い印象の皆様方とお話しができた。このような方がた沢山いるまちは、きっとこれからも良くなっていく。ぜひこれからも懇意にいただければと思う。どうも長い間ありがとうございました。

事務局：(挨拶)

#### 4 開会

座長：(閉会)